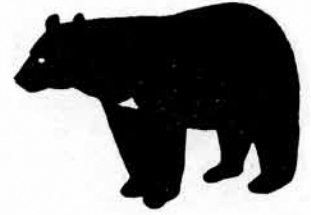


ツキノワグマの被害に遭わないために

広島県

広島県にはツキノワグマが生息しています。
あなたはツキノワグマについてどのくらい知っていますか。



特 徴

- 体長：110～130cm
- 体重：80～120kg
- 耳：非常に優れている（低音は鈍感）
- 鼻：人の気配も臭いで分かる
- 目：あまりよくない
- 得意な運動：木登り、水泳、人より速く走れる
- エサ：春は山菜、秋は果実、クリなどの木の实
ハチミツは特に大好き
- 繁殖：初夏
- 出産：冬眠中に1～2頭子供を産む
- 腕力：木登り、穴掘りのため非常に強い

行 動

- 行動範囲：オス・30～60km²
メス・10～50km²
- 食事時間：朝方、夕方
- 活動時期：春は冬眠から目覚めて、秋は冬眠準備のために特に活動が活発
- 子グマは3歳近くまで母グマと一緒に
- 繁殖期のオスはかなり気が立っている

出会ってしまったら

- ★遠くにクマを見つけたら静かに急いで立ち去る
- ★クマに気づかれたらまず、落ち着くこと
静かにしていればほとんどの場合、クマが立ち去る
- ★逃げるものを追いかける習性がある
クマを刺激しないことが大切
- ★子グマの近くには必ず親グマがいる
子グマを見ても近づかないように

出会わないために

- 朝方、夕方のクマの食事時間に出歩くのは特に危険
- 鈴やラジオで自分の存在を知らせよう
- フンや足跡を見つけたらすぐ引き返そう
- 山菜はクマの大好物、山菜採りは一層の注意を
- 山では必ず2人以上で行動しよう

人の食物はクマにもおいしい

クマが人の食物の味を覚えれば危険も増大！

- ◎家庭やキャンプ場の残飯や生ゴミ、弁当ガラはきちんと処理しましょう。
- ◎コンポストに近寄らせない工夫が必要です。
- ◎食べない柿の実などは早めに処分しましょう。
- ◎家の近くの蜂の巣は取り除きましょう。

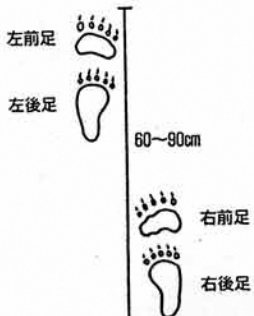
ツキノワグマに出会って冷静に行動できる人は多くいません。

出会わないことが一番大切です。

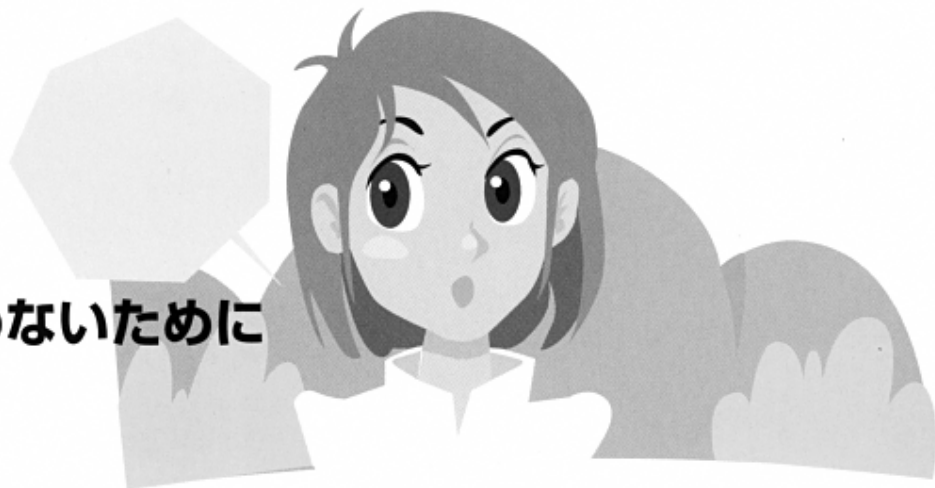
クマのいる山では慎重に行動しましょう。



ツキノワグマの糞
(人とほぼ同じ大きさ)



山でクマと出会わないために



●自分の存在をクマに知らせる/クマは、聴覚や嗅覚が優れているため、ほとんどの場合、人よりも先に人間の接近を知って繁みなどへ逃げていきます。笛や鈴、ラジオなど音が出るものを携帯し、自分の存在をクマに知らせましょう。

●朝や夕方 of 行動をさける/クマは、朝夕に活発に動くのでその時間帯には山に入るのを控えましょう。

●山にクマがいるのは当たり前/西中国山地は、クマの生息域なので、山奥にクマがいるのは当然と思って山に入りましょう。クマの糞や足跡を見つけたらすぐに引き返すなど、細心の注意が必要です。



●山菜採りは、ほどほどに/人間が好きな山菜は、クマにとっても大好物。山菜の採れる季節はクマもエサを求めて活発に動き回っていますので、糞や足跡などを見たらすぐに引き返しましょう。また入山の際は、できるだけ2人以上で。



●悪天候の日は注意/雨や風の強い日、霧の濃い日は、クマも人の気配に気づかず、至近距離まで接近することがあります。普段以上に注意しましょう。



なま す かてい あん い さん や す
●生ゴミをむやみに捨てない/家庭ゴミを安易に山野に捨てないようにしましょう。もちろん、キャンプやハイキングなどでも残飯管理を徹底しましょう。



こ て だ こ ちか はは
●子グマには手を出さない/子グマの近くには母グマがいる可能性が高いので、かわいいからといって近づくのはやめましょう。母グマは子グマの危険を感じ、近寄ってきた人間を攻撃してきます。

で あ ば あい
出会ってしまった場合



●あわてない/人間があわてて物音をたてると、クマもあわてて興奮してしまうかもしれません。遠くにいるだけなら心配ありませんので、あわてず、騒がず、そっと立ち去りましょう。

さわ もの な ちか で
●騒がず、物を投げつけない/近くで出会ってしまったときには大声で騒がないようにします。悲鳴がクマをおどろかせるかもしれません。また、あたりにある物をクマに向かって投げつけたりすることは、興奮させる可能性があるので危険です。

き そら す し きんきょり であ
●気をそらす/至近距離で出会ってしまった場合、背負っているリュックなどの荷物を軽く投げ捨てることで、クマの注意を別の物に向け、ゆっくりと後退することも有効です。



はし に に
●走って逃げない/クマは逃げるものを追う習性があるため、背中を見せて走って逃げるのは大変危険です。本能的に襲ってくる可能性があるからです。あわてず、クマから目を離さないように、ゆっくりと後退してください。ただし、クマと目を合わせることは、攻撃をしかけられているとクマが勘違いするので危険です。